

# 平成14年度宇都宮市高等教育機関連絡協議会 会議録

1. 開催日時 : 平成14年7月22日(月)午後3時
2. 開催場所 : 宇都宮市役所14A会議室(14階)
3. 出席者氏名 : 宇都宮短期大学 学長 須賀 淳  
宇都宮大学 学長 田原 博人  
宇都宮文星短期大学 学長 上野 孝子  
文星芸術大学 学長 上野 憲示  
作新学院大学女子短期大学部 学長 深谷 徳次郎  
作新学院大学 学長 矢内原 勝  
帝京大学理工学部 事務局長 佐藤 義男  
宇都宮市 市長 福田 富一  
宇都宮市教育委員会 教育長 高梨 眞佐岐
4. 公開・非公開の別 : 公開
5. 傍聴者の数 : 0人
6. 議事
  - (1) 役員選任
  - (2) 報告事項  
平成13年度事業報告について  
平成13年度収支報告について
  - (3) 協議事項  
平成14年度事業計画(案)について

## 平成 14 年度予算(案)について

### 7 . 役員選任

会長	田原委員
会長職務代理者	須賀委員
監事	上野孝子委員
監事	矢内原委員

### 8 . 発言の要旨

#### 7 大学めぐりについて

( 須賀委員 )

7 大学めぐりについて , 定員を満たしていない。

( 矢内原 )

アンケートの結果からも , 参加する人が固定しているのではないか。

( 坂本 )

7 大学めぐりは , 平成 5 年から実施し , 市民に浸透してきた。

また , 平日実施のため参加者が限られてしまう。これからは , 今までに参加したことの無い方々にも参加いただけるよう検討したい。

( 須賀委員 )

定員割れしないよう , PR をしてほしい。

( 田原委員 )

1 コースの内どこか 1 つの大学ででも , 何か興味の持たれるものを企画してみてもどうか。

( 福田委員 )

子どもが大学に触れる機会は少ないので , 親と子の大学めぐりはでき

ないか検討してほしい。

ただし、大学生がいて、子どもたちが休みの期間が好ましい。

また、親子で学習をする機会としても、小中学生向けの内容を各大学で検討できないか。

(高梨委員)

夏休みに、子ども向けの講座を企画できないか。

(上野憲示委員)

親と子の陶芸教室をやっているが成功している。

(須賀委員)

親と子の大学めぐりは、7月下旬ならやれるかも。8月は無理。

(丹生課長)

来年度の事業のなかで検討したい。

オープンキャンパスの社会人開放について

(上野憲示委員)

オープンキャンパスの時に市有バスを利用できないか。

(川田)

検討する。

公開講座について

(上野孝子委員)

公開講座は、その内容により、定員を割ってしまう。

市民の学習ニーズが低下しているのか、あるいはPR方法が悪いのか。

皆様の現状をお聞きしたい。

( 深谷委員 )

例年参加される方々がいらして一定の人数を確保できる講座があるが、開催場所を変更し、会場が遠くなっても、その講座が受けたいから参加したと聞いて、距離が問題ではないと思う。

( 矢内原委員 )

起業家セミナーは申込が多い。需要が問題なのではないか。

( 佐藤事務局長 )

7大学リレーでの参加者数を見ると、理工系の大学ということもあると思うが、講座の内容を検討したい。

( 田原委員 )

公開講座に来られた人は、他の大学の公開講座にも興味を持っていると思うので、互いにPRし合うのも方法のひとつだと思う。

または、ある一定の基準をきめて(例えば公開講座20個受けたら)スタンプや、奨励書を渡すなど、目標があると意欲が出るのではないか。

( 上野孝子委員 )

美術系なので、経験者が参加者の大半をしめてしまうと、初心者の方が申込に躊躇してしまう。

( 田原委員 )

公開講座を大学という場で開催するだけでなく、大学を出て、講師が出向いての公開講座という方法もあるのではないか

市民がどんなことを求めているのか、大学ではわからないところがある。